

灘山緑地リノベーション計画

令和8年3月

兵庫県淡路県民局洲本土木事務所

兵庫県まちづくり部公園緑地課

目 次

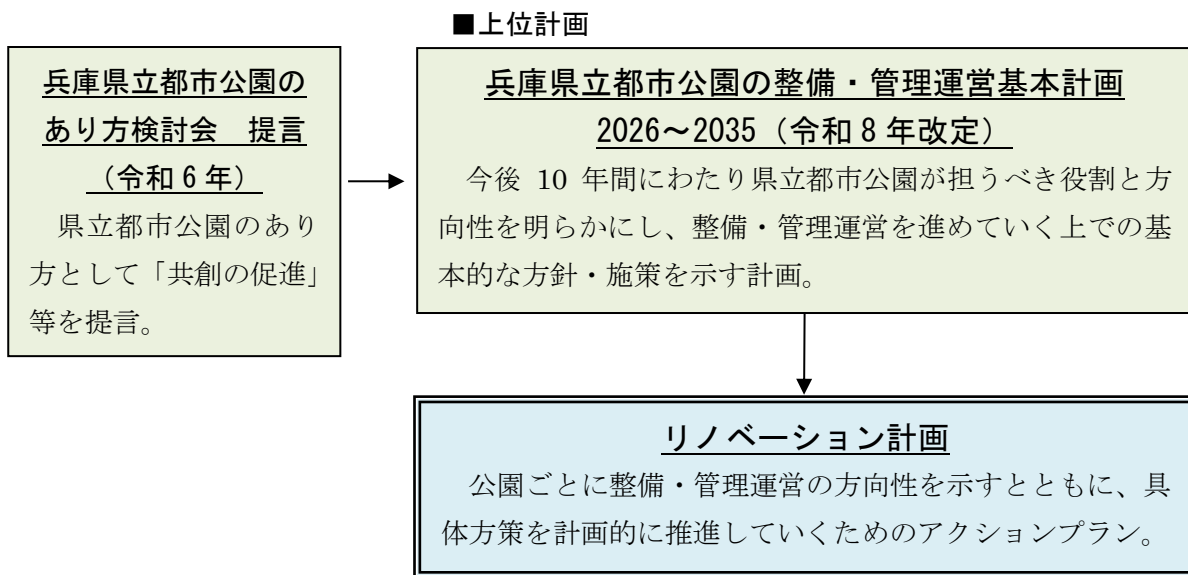
1 計画の基本的事項	1
1-1 背景と目的	1
1-2 リノベーション計画更新の考え方	1
2 計画の推進	3
2-1 都市公園を取り巻く状況	3
2-2 リノベーション計画の進め方	4
(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】	5
3 灘山緑地の計画内容	6
3-1 灘山緑地の概要	6
3-1 灘山緑地の成り立ち	エラー! ブックマークが定義されていません。
3-2 リノベーションテーマ	9
3-3 リノベーション方針	9
3-4 対策内容	11

1 計画の基本的事項

1-1 背景と目的

兵庫県では、「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」（以下、「基本計画」という。）に基づき、「誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園」の実現を目指し、県立都市公園の整備・管理運営を推進しています。

基本計画では、全ての県立都市公園を対象にして、基本的な方針・施策を示すとともに、各公園が取り組むべき具体的な内容について、各公園のリノベーション計画（アクションプラン）に位置づけた上で、「共創」の理念のもと、事業を展開していくこととしています。



1-2 リノベーション計画更新の考え方

社会情勢等を踏まえ、管理運営協議会等で検討した上で、随時、計画の点検・見直しを行います。

Column 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画とは？

「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」では、県立都市公園の将来像、推進体制及び方針・施策を下記のとおり定めています。

将来像

誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園

県民と育む推進体制

将来像の実現に向けて、様々な分野の県民・指定管理者・行政が「共創」の理念のもと、それぞれの役割を發揮しながら、基本計画の施策を推進していきます。

施策方針と施策

将来像	施策方針	施策
誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園	1 県民にとってより身近な公園	(1) 心身の健康の増進
		(2) こどもの健やかな成長の促進
		(3) 安全・安心な場としての充実
	2 誰もが自分らしく過ごせる公園	(4) 多様な過ごし方の実現
		(5) 誰もが快適に利用できる環境づくり
	3 地域のつながりを育む公園	(6) 地域連携の推進と地域文化の保全
	4 自然環境を次世代へつなぐ公園	(7) 生物多様性確保の推進
		(8) 気候変動への対応の推進
	5 持続可能なパークマネジメントの推進	(9) 老朽化対策や改修の計画的な推進
		(10) 持続可能な管理運営の推進

2 計画の推進

2-1 都市公園を取り巻く状況

基本計画では、都市公園を取り巻く潮流や都市公園に求められる事項を下記のとおり整理しています。リノベーション計画において、各公園における具体的な取組内容を検討する際は、下記事項を踏まえて検討します。

●潮流

(1)まちづくりGX

「気候変動への対応」、「生物多様性の確保」、「Well-beingの向上」等の社会的要請に対して、都市公園の多様な機能を活かした取組を推進。

(2)都市公園法の改正(平成29年)

平成29年の都市公園法の改正により、民間活力を活用したPark-PFI制度が新たに設けられ、官民連携を推進する制度が拡充。

(3)国による都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(令和4年)

提言では、“使われ活きる公園”の実現に向け、「まちの資産とする」、「個性を活かす」、「共に育て共に創る」の3つの変革と、「グリーンインフラとしての利活用」、「誰もが快適に過ごせる空間づくり」、「利用ルールの弾力化」、「社会実験の場としての利活用」、「担い手拡大と共創」、「自主性の向上」、「公園DXの推進」の7つの重点施策が示されている。

(4)県による県立都市公園のあり方検討会提言(令和6年)

提言では、都市公園の整備・管理運営においては、「県民参画による共創の促進」と、「公園の特性に応じた柔軟な対応」等が重要と示されている。

●都市公園に求められること

(1)公園利用の変化への対応

- ・障がいのある方や高齢者、外国の方等、多様な利用者が快適に過ごせる空間づくり
- ・多様化する利用ニーズに対応するため、利用ルールの柔軟な運用（ボール遊び等）

(2)地域との連携強化

- ・地域活性化や地域課題の解決に向けた、周辺施設や民間企業との連携強化
- ・地域文化の継承に向け、公園資源や周辺地域の資源を活用した取組の推進

(3)環境問題への対応

- ・生物多様性の確保や気候変動への対応に向けた、都市公園が持つ多様な機能を活かした取組の推進

(4)公園の持続的な管理運営

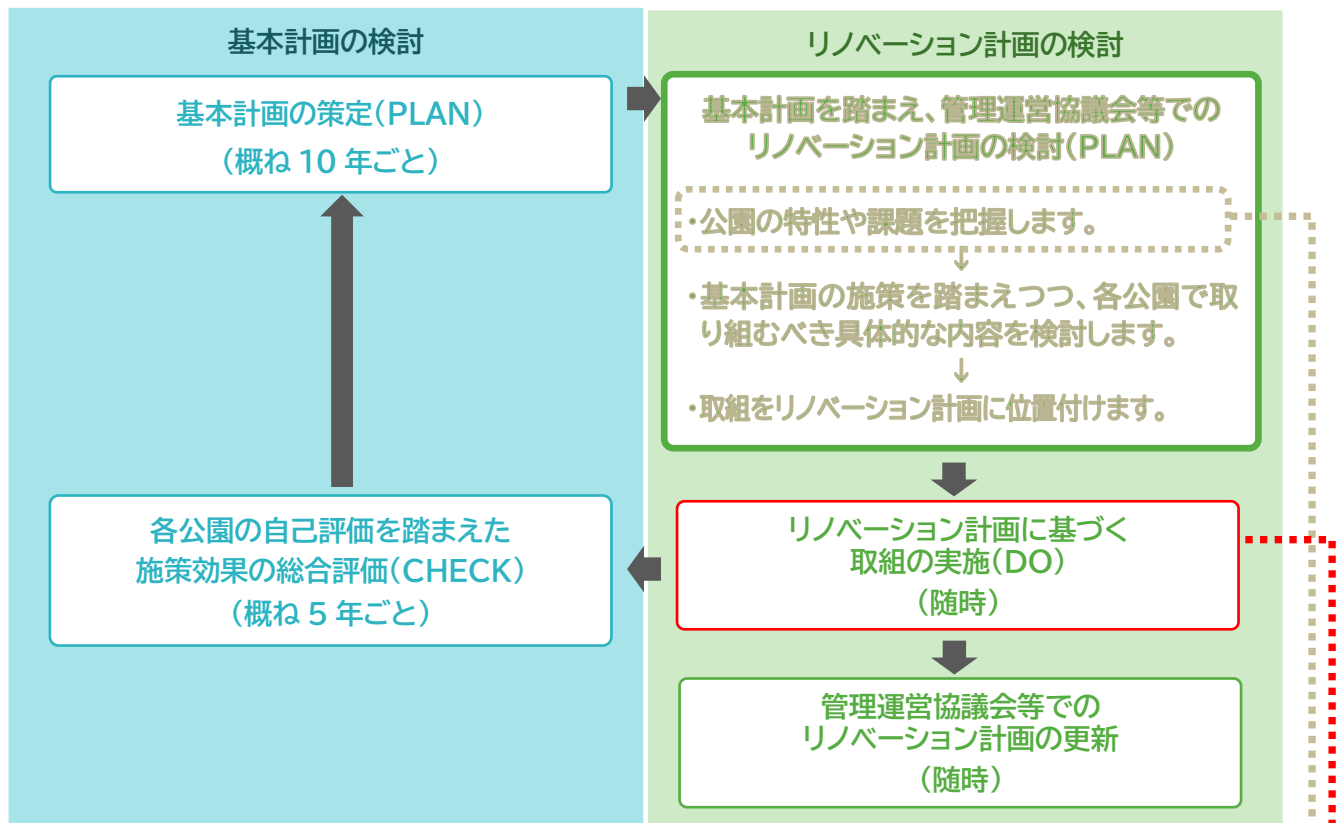
- ・県民が公園運営に参加し、活躍できる場の創出や、地域と行政をつなぐ人材の育成

2-2 リノベーション計画の進め方

リノベーション計画は、管理運営協議会等を通じて県民の意見を適切に反映しながら、具体的な取組内容を検討していきます。そして、時代の潮流や利用者ニーズの変化に柔軟に対応するため、取り組む内容については必要に応じて随時見直しや更新を行います。

また、リノベーション計画の取組実績等は、基本計画の総合評価等にフィードバックし、次期計画への改善・反映につなげていきます。

具体的なフローは以下のとおりです。



※公園の特性把握に向けた調査・検討の視点

■これまでの取組の蓄積を振り返る

過去の取組実績とその成果を振り返り、各公園が今後も継続・発展させるべき事項を整理します。

■公園内外の資源を確認する

公園内の施設や周辺地域・環境が有する資源（自然、歴史遺産、文化的営み、観光施設等）に着目し、公園の強みや周辺と機能分担すべき事項を確認します。

■利用実態・利用ニーズを把握する

利用者アンケート等の結果を分析し、時代に応じて利用者が公園に求めているものを把握します。

※リノベーション計画の実施について

県が優先順位に基づく実施スケジュール案を管理運営協議会等で示し、協議を経た上で実施します。

(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】

時期		県立都市公園の成り立ちと歴史													県等の動向		国等の動向			
		明石	甲山森林	播磨中央	淡路島	赤穂海浜	一庫	有馬富士	三木防	丹波並木道	淡路佐野	西猪名	舞子	瀬山	尼森	石の寝屋				
第1期	明治から戦前・戦後	M16	<p>○M16民営公園として開園</p> <p>■M17明石公園開設 民営公園として開園後、御料地への購入を経て、県立公園として開園</p> <p>□T13拡張(南部) □S7拡張(野球場整備等)</p> <p>■M33舞子公園開設 「地盤国有公園」として誕生した初の県立都市公園 松林を中心に広く一般に供された</p>													◆S22 第1回国体開催(宝塚市等)	○M6 太政官布達、公園制度の創設 ○T8 (旧)都市計画法の交付、公園が都市計画対象となる			
第2期	高度経済成長	S30	<p>□S44～各施設の順次改修、新設</p> <p>■S45甲山森林公園開園 甲山周辺の緑地の保全、豊かな自然の中での健康づくりをテーマとして整備</p> <p>□S48整備着手:「兵庫百年」「明治百年」記念事業として整備 □S51整備着手</p> <p>■S53播磨中央公園開園 東播磨地域の文化・スポーツ・レクリエーションの核 「緑の回廊計画」の中核施設としての整備</p> <p>○S56軟式高校野球全国大会会場としての使用開始</p> <p>○S58一庫タムの管理開始</p> <p>○S58レクリエーション開発構想「三田サン・イベント構想」</p> <p>■S57西猪名公園開園 伊丹空港周辺の環境整備事業の一環として工場跡地(運輸省買収)を整備</p> <p>○S38瀬山における土砂採取開始</p>													□S41 「県勢振興計画」 ◆S42 「兵庫百年」「明治百年」記念事業	○S31 都市公園法の公布 ○S37 全総<地域間の均衡ある発展> ○S43 都市計画法(新法)の公布 ○S44 新全総<豊かな環境の創造> ○S47 「都市公園等整備五箇年計画」			
第3期	都市の拡大とバブル景気	S60	<p>■S60淡路島公園開園 淡路島内及び周辺地域のレクリエーション需要への対応</p> <p>□S61拡張計画 昭和天皇在位60周年記念健康運動公園に指定</p> <p>■S62赤穂海浜公園開園 西播磨地域の多様なスポーツ、レクリエーション需要への対応</p> <p>□H1追加開園(赤穂わくわくロード) ○H1「丹波の森構想」策定 □H2追加開園(赤穂広場等) ○H2基本計画策定</p> <p>□H4計画見直し □H3追加開園(泉民の森等) 緑地保全を優先した計画に見直し</p> <p>○S60追加開園(ウォーターランド、テニスコート)</p> <p>□S60追加開園(ウォーターランド、テニスコート)</p> <p>○S58土砂採取の終了 □H6基本構想策定</p>													□S60 「全県全土公園化構想」 □S61 「兵庫2001年計画」	○S61 「第4次都市公園等整備五箇年計画」 ◆S63 ボンボン'88開催 □H3 「緑の総量確保推進計画」			
第4期	阪神淡路大震災以降	H8	<p>□H9追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシス等)</p> <p>■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出合いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査)</p> <p>■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>○H14全面供用</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H19丹波並木道中央公園開園 「丹波の森構想」中核施設として整備</p> <p>□H21第1期事業完成</p> <p>□H21追加開園(クラフトゴルフ場) □H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) ○H21間伐実施</p> <p>□H22追加開園(旧武蔵山治邸)、クラフトオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン</p> <p>□H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止 ○H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジゲンノリ」オープン ○H30グランピング施設オープン</p> <p>□H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H31明石城築城400周年</p> <p>○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R4PF1事業終了 R5指定管理開始 ○R5間伐実施 ○R5尼崎の森、石の寝屋 自然共生サイト登録</p> <p>□R5サイクリングコース供用開始 ○R7長期指定管理開始</p>													□H8 「兵庫県グリーンフェニックス計画」 ◆H10 明石海峡大橋の直通	○H10 21世紀の国土のグランドデザイン <多軸型国土構造形成の基礎づくり> ○H10 「第6次都市公園等整備五箇年計画」			
第5期	これから	R8	<p>「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 ①計画期間：2026～2035(10年間) 概ね5年で計画の点検 ②施策方針： 1 県民にとってより身近な公園 2 誰もが自分らしく過ごせる公園 3 地域のつながりを育む公園 4 自然環境を次世代へつなぐ公園 5 持続可能なパークマネジメントの推進</p>													◆R3 淡路花博2021花みどりフェア □R3 「ひょうごビジョン2050」 □R5 県立都市公園のあり方検討会提言 ◆R7 淡路花博2025花みどりフェア □R7 「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 □R9 「緑の広域計画」策定	○H15 地方自治法改正(指定管理者制度) ○H16 都市緑地保全法、都市公園法の一部改正 ○H26 国土のグランドデザイン2050 <コンパクト+ネットワーク> ○H27 持続可能な開発のための2030アジェンダの採択 ○H27 国土形成計画 ○H29 都市公園法改正(Park-PFI) ○R2 ニューノーマルに対応した公園の活用 ○R6 都市緑地法改正(緑の広域計画)			

■県立都市公園としての開園、□各公園に関連する動向(計画見直し、追加整備等) ○各公園に関する出来事(イベント、周辺地域の動向)

□:関連計画等
◆:関連イベント、出来事等

3 灘山緑地の計画内容

3-1 灘山緑地の概要

(1) 公園概要

公園名	灘山緑地	
開設年月日	平成12(2000)年3月18日	
面積	計画面積：11.3ha 開園面積：11.3ha	
公園種別	都市緑地	
主な施設	プロムナードガーデン(庭園)、 展望デッキ	

現在の淡路夢舞台、国営明石海峡公園の背面となる淡路島北端部の灘山は、関西国際空港の整備にあたり約1億m³もの土砂が採取され、跡地は剥き出しの岩盤法面であった。

灘山緑地は、最新の緑化技術により淡路島の自生種を中心とする10種類の苗木の植栽により、自然植生を回復した緑地である。

現在では緑豊かな自然林に成長し、野鳥、野ウサギ、昆虫など多くの生物が棲息するとともに、夢舞台全体の景観を形成している。本緑地の中腹には全長380mに渡る回廊風のプロムナードガーデンがあり、国営明石海峡公園、淡路夢舞台、大阪湾を一望できるビューポイントとなっている。

(2) 利用者数の推移

平成22年度の「淡路花博2010花みどりフェア」、平成27年度の「淡路花博2015花みどりフェア」の開催時は300千人前後の利用者数となったが、R2年度のコロナ禍以降は減少し、最近では100千人前後となっている。



(3) 施設配置図



プロムナードガーデン



展望デッキ



(4) 灘山緑地の成り立ち

公園名	時 期														これから			
	戦後復興及び高度経済成長					都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降							R8		
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3			
	緑の回廊計画					全県全土公園化構想			兵庫県グリーンフェニックス計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035)
															灘山緑地リノベーション計画			
灘山緑地	取組み概要														国際花博開催に併せた修景緑化の先駆的モデルとしての緑化			
	整備														共創の促進			
	管理・運営														○森林の適切な管理			
	S38:灘山における土砂採取開始					H6:土砂採取終了			H12:開園 灘山周辺土砂採取跡地の緑の回復 淡路夢舞台地区と一体となった緑あふれる景観形成									
	S63:リゾート法における地域整備計画においてゴルフ場計画					H10:明石海峡大橋の開通			H12:淡路夢舞台の開園			H12:「国際園芸・造園博「ジャパノローラ」の開催						
	H4:淡路島の玄関口としての公共的整備の要請の高まりからゴルフ場計画の中止					H4:「淡路島国際公園都市構想」の策定			H5:「淡路島夢舞台構想」の策定			H14:国営明石海峡公園開園						
	H21~23:間伐の実施					H22:「淡路花博2010 花みどりフェア」の開催			H27:「淡路花博2015 花みどりフェア」の開催			R3:「淡路花博2021 花みどりフェア」の開催			R5:間伐の実施			
	R7:「淡路花博2025 花みどりフェア」の開催					H18:指定管理開始(非公募)									○管理運営協議会設置			

3-2 リノベーションテーマ

灘山緑地のリノベーションテーマおよびキーワードを以下の通り設定する。

テーマ：豊かな森を活かした散策等レクリエーション

キーワード：

豊かな森

3-3 リノベーション方針

公園の成り立ちや各施設の利用状況、周辺施設の状況等から総合的に判断し、「新規施設導入」、「機能の更新」、「機能の維持・保全」に分類したリノベーション方針を示す。

対応については、今後、管理運営協議会等で詳細を議論することとする。

なお、実施に当たっては、財政状況・施設の運営状況・社会情勢（ポストコロナ・SDGs等）を考慮し、県民全体のサービス向上に資するように努める

(1) 現状と課題及び方針

■：新規施設導入 ■：機能の更新 ■：機能の維持・保全

キーワード	施設名	利用状況	課題	対応（○ハード、■ソフト）
豊かな森	プロムナードガーデン	●散策に利用。	●四季の花等が少なく、華やかさに欠ける。 ●カスケード等水景施設が故障等で使われていない。	機能の維持・保全 ○維持管理の手間がかからないガーデンとして、現在の植栽等を見直すとともに、水景施設の撤去等を検討
	森育成	●特に無し。	●苗木植栽(ウバメガシ-ヤマモモ群落)から20年以上経過しているが、管理マニュアルに基づく十分な育成管理ができていない。 ●樹木が繁茂しており、展望台からの眺望が確保できていない。	機能の維持・保全 ○森育成状況を調査及び、管理計画に基づき除伐等を実施 ○景観園芸学校との連携により遷移を想定した目標植生を設定 ○展望台、プロムナードガーデン四阿等のビュースポットからの眺望回復のための支障木伐採 ○利用者のスムーズな通行を確保するための階段際の支障木伐採

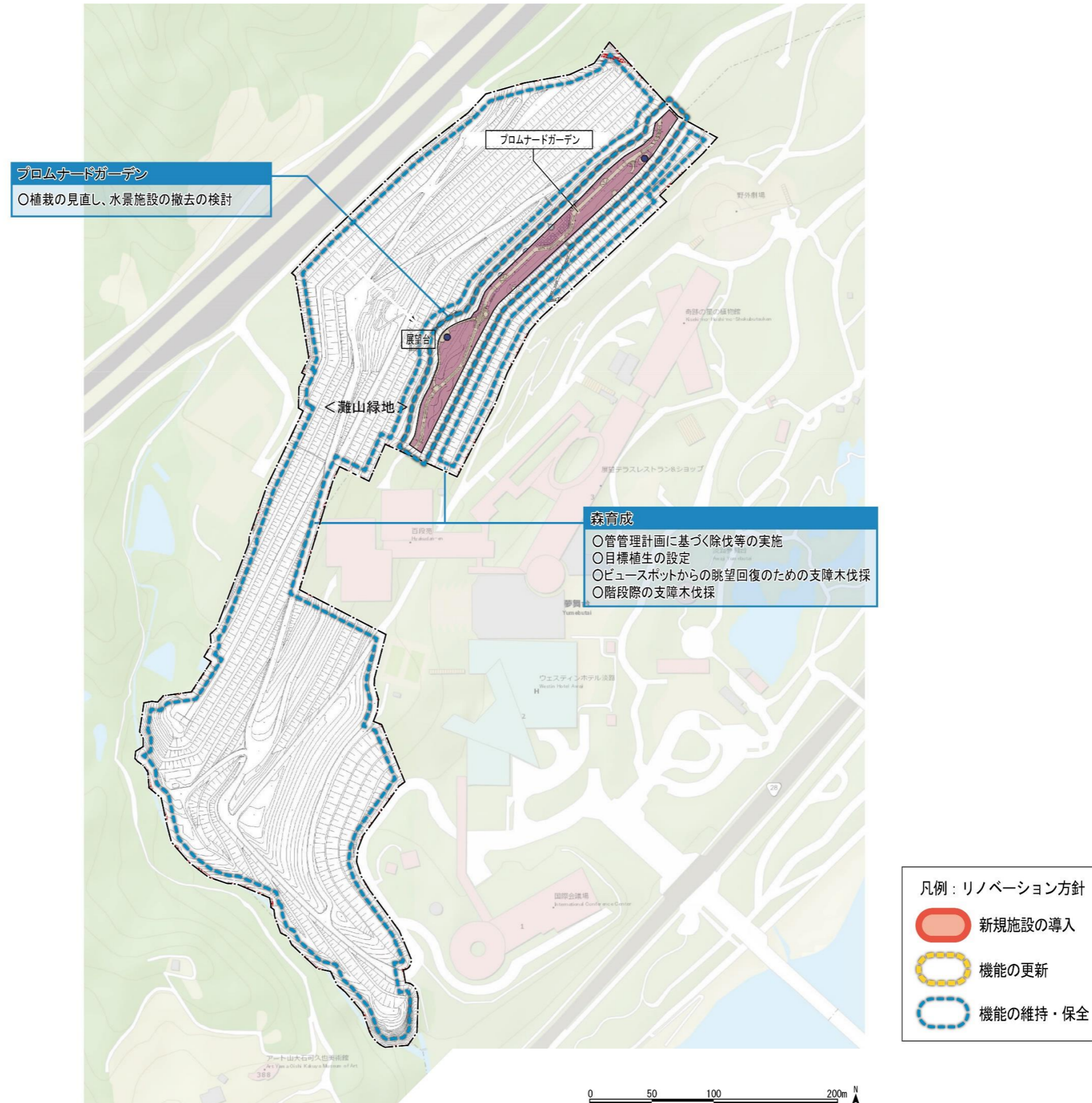
(2) 公園をとりまく社会情勢の変化

コロナ後等の社会情勢を見据え、施設の新たな活用を検討するとともに、SDGs達成を目指した取り組みを推進する。

(ポストコロナ)

- 「3密」回避できるセルフレクリエーションの推進
 - ・夢舞台のホテル等と連携したウォーキング等の利用促進のための環境整備
- 公園内外のマイクロツーリズムの展開
 - ・ホテルに隣接した立地や北淡路花緑ネットワーク会議を主軸とした近隣花緑施設との連携を活かした新たな淡路島観光のモデルの創出

(3) リノベーション方針図 (○ハード、■ソフト)



3-4 対策内容

計画の対象ごとに、課題、実施主体（案）、概要を示し、これに基づいてリノベーションを実施する。

①プロムナードガーデン

<課題>

- 四季の花等が少なく、華やかさに欠ける。
- カスケード等水景施設が故障等で使われていない。

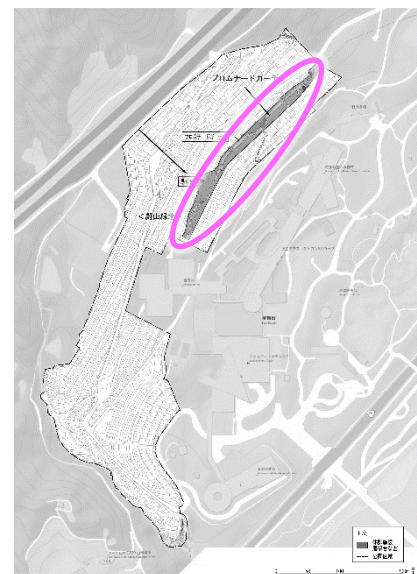
<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 **ソ**：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	植栽等の見直し、水景施設の撤去等の検討					

<概要>

維持管理の手間がかからない散策林として、現在の植栽等の見直しを検討する。



プロムナードガーデン壁泉広場からの眺望



プロムナードガーデン四阿からの眺望

②森育成

<課題>

- 苗木植栽（ウバメガシ-ヤマモモ群落）から 20 年以上経過しているが、管理計画に基づく十分な育成管理ができていない。
- 樹木が繁茂しており、展望台からの眺望が確保できていない。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策

ソ：ソフトに関する対策

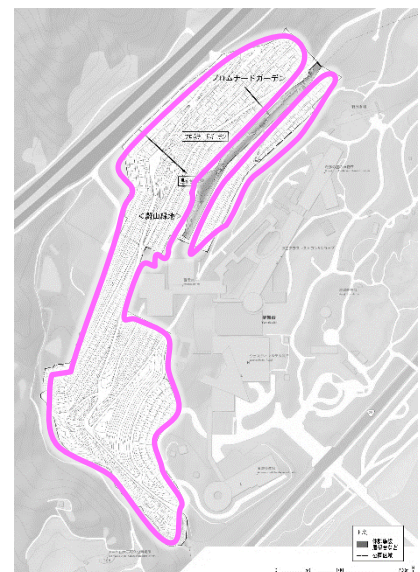
		県	指	市町	民間	住民
ハ	管理計画に基づく除伐等の実施	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ	目標植生の設定	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ	ビュースポットからの眺望回復のための支障木伐採	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ	階段際の支障木伐採	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

森育成状況を調査・把握し、管理計画に基づき除伐等を実施する。

なお、遷移を想定した目標植生については、景観園芸学校との連携により検討し設定する。

展望台、プロムナードガーデン四阿等ビュースポットからの眺望を回復するため、大規模除伐を実施。また、利用者のスムーズな通行を確保するため、階段際についても大規模な除伐を実施する。



樹林地



樹林地内

③社会情勢の変化への対応（ポストコロナ時代への対応）

<課題>

- ポストコロナを見据え、公園の新たな活用が期待されている。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">ハ</div> <div style="background-color: #FFA500; padding: 2px;">ソ</div> </div>	セルフクリエイションの推進	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
		県	指	市町	民間	住民
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">ハ</div> <div style="background-color: #FFA500; padding: 2px;">ソ</div> </div>	マイクロツーリズムの展開	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

ウォーキング等の利用促進のための環境整備を行う。

ホテルに隣接した立地や北淡路花緑ネットワーク会議を主軸とし、近隣花緑施設との連携を活かした新たな淡路島観光のモデルを創出する。